



白河が誇る優れた産品を紹介！

本庁舎農政課 ☎②1111 内2225



白河ブランド
認証第12号

白河 五百万石
純米吟醸



原料となるお米は、表郷地域で契約栽培している酒造好適米の「五百万石」で、50%まで磨いて使用しています。

低温発酵の吟醸造りで丁寧に醸造した純米吟醸酒は、穏やかな吟醸香と純米酒の風味を楽しめます。酸味も少なくすっきりとした軽いお酒で、女性の方にもおすすすめです。

～商品を通じて市の魅力を発信～

白河を訪れたことがない方に、お酒を通じて白河の街に興味をもってもらい、様々な地域産品や観光地の良さを知っていただきたいです。

市公認キャラの小峰シロをラベルにしたお酒など、市のPR商品作りにも取り組んでいるため、販売会などで魅力を発信していきたいと思ひます。



千駒酒造(株)代表取締役
櫻井 慶さん

農業経営の法人化・集落営農の組織化を応援します！

農業者の高齢化や担い手不足が進んでいます。将来に向けて地域の農業・農村を発展させていくため、市では今年度から人・農地相談センターを設置しています。専門知識を持つ地域連携推進員を配置することで、地域ごとの特色に合わせた農業経営法人化・集落営農組織化を支援しています。

また、農業経営の法人化・集落営農の組織化を推進するため、様々な支援を行っています。詳しくはご相談ください。

《今年度の法人・集落営農組合の設立動向》

- ▷農事組合法人「深渡戸アグリ21」
- ▷萱根集落営農組合
- ▷久保集落営農組合

本庁舎農政課 ☎②1111 内2223 / 人・農地相談センター 内2299 / 各庁舎事業課 表郷 ☎②4785 大信 ☎④3973 東 ☎④2115



▲農事組合法人「深渡戸アグリ21」設立総会の様子

介護サービスの質的向上を目指して

介護相談員は、介護サービス利用者の疑問や要望を聞き、問題を解決するようサービス提供事業者や市と意見交換を行うなど、橋渡し役を務めています。

今月号では、事業の概要と介護相談員のインタビューをお届けします。

本庁舎高齢福祉課 ☎②1111 内2724

■介護相談員派遣事業とは

介護サービスを提供している施設や事業所に介護相談員を派遣し、利用者の相談に応じる事業です。介護相談員は、利用者の悩みや不安に耳を傾け、それが「行き違いや連絡不足によるものか」「介護サービスの改善に関わるものなのか」などを見極め整理します。そのうえで、施設や事業所職員と意見交換を行い、より良い介護サービスが提供できるよう活動しています。また、施設や事業所で、利用者の要望や疑問を調整することは、サービスの改善点を探る手掛かりとなり、サービスの質の向上にもつながっています。

市では、家族介護の経験がある方や、高齢者保健福祉の知識がある方など12人に、介護相談員の委嘱をしています。



市では、平成14年から介護相談員派遣事業を実施しています。相談員は2人1組で活動し、市内の施設等を月3・4回訪問しています。

◀介護相談員マスコットキャラクター
クーちゃん

Interview

生きがいを持ってもらえるように活動していきたい

第3期生として介護相談員になり、8年目となりました。最初の頃は、利用者からの話を聞くことに戸惑いがありましたが、2・3年目からは施設の特徴、環境、仕事の内容について理解することができるようになりました。そして今では、利用者から昔話や家族の話などを、ゆっくりと聞くことができるようになりました。



鈴木トシ子さん(東上野出島)

また、介護相談員をきっかけに、老人会などから声を掛けていただくことがあります。高齢の方と触れ合う機会が増えたことで、より親切にやさしく接することができるようになりました。

今後もこれまでの経験をいかして、利用者に対して積極的に声かけなどを行い、生きがいを持って暮らしてもらえるように活動していきたいと考えています。

■「認知症コミュニティルーム」オープン！

10月30日、レジデンス楽市1階(大手町)に、「認知症コミュニティルーム」を開所しました。このコミュニティルームでは、認知症専門職の方が認知症の方を介護している家族の相談などを行う「あったかカフェ」や、医療・介護従事者が認知症の方との接し方を身につける研修などを行います。

なお、「あったかカフェ」を次のとおり開催します。お茶を飲みリラックスしながら、介護の悩みなどをご相談ください。

- 日時 12月10日(木)、1月14日(木)・28日(木)、2月12日(金)、3月10日(木) / 午後1時30分～3時30分



▲オープニングセレモニーの様子